



社名の由来である  
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン  
「シャルロッテ」

サステナビリティ

株式会社 ロッテ

2023年8月31日（木）

## プラスチックの資源循環に向けた取り組み ガムボトル容器回収リサイクルの実証実験を開始 9月より約50企業・団体の約100カ所で実施

株式会社ロッテ（代表取締役社長執行役員：牛腸栄一 以下、ロッテ）は、キシリトールガムなどのファミリーボトル商品で採用しているプラスチック製ガムボトル容器について、不要になった容器を回収してリサイクルする実証実験（以下、本実証実験）を本年9月より開始いたします。本実証実験には、株式会社カウネット、株式会社トベ商事および協栄産業株式会社が参加します。

本実証実験は、喫食後に不要となったガムボトル容器を回収し、ボールペンにリサイクルする取り組みです。回収に協力いただける団体・企業様の事業所に「ガムボトル回収ボックス」を設置します。回収された容器は、リサイクルペレットに成形された後、ボールペンに生まれ変わります。ボールペンは本実証実験にご協力いただいた団体・企業様に寄贈予定です。

当社では、「ロッテ プラスチック基本方針」を定めて、プラスチックの資源循環に貢献できるよう取り組みを推進してまいりました。プラスチックの資源循環にかかわる課題の一つに、使用済プラスチックの分別回収があります。当社ではこの課題の解決を目指す第一歩として本実証実験を行い、プラスチック容器包装の分別回収を社会実装するための課題整理を行います。

これまで「キシリトール」ブランドでは、プラスチックガムボトルの胴体部分の形状変更によるプラスチック使用量の削減や、繰り返し使用できるリユース可能な容器を採用した「Loopキシリトールガム<ライムミント> 216G」の発売など、プラスチックの資源循環に貢献できるよう取り組んでいます。また、当社では本実証実験のように、容器包装等における持続可能な社会の実現に挑む様々なチャレンジを「スマイルエコチャレンジ」と名付けて推進しています。引き続きステークホルダーのみなさまと共にサプライチェーン全体での持続可能な社会の実現に向けた「スマイルエコチャレンジ」を推進してまいります。



ボトルガムの代表例  
キシリトールガム<ライムミント>  
ファミリーボトル



社名の由来である  
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン  
「シャルロッテ」

## 実証実験の概要

- ・目的：プラスチック容器包装の分別回収を社会実装するための課題整理
- ・回収ボックス設置期間：2023年9月～12月（予定）
- ・回収ボックス設置箇所：およそ100カ所

## 回収ボックスの設置に協力いただく団体・企業様（一部）

- 株式会社アグレックス
- 株式会社アシックス
- アビームコンサルティング株式会社
- 伊藤忠商事株式会社
- 伊藤忠食糧株式会社
- 株式会社イトーキ
- ヴィエムウェア株式会社
- 株式会社内田洋行
- 兼松エレクトロニクス株式会社
- 株式会社サイバーエージェント
- 渋谷スクランブルスクエア株式会社 渋谷キューズ
- 大日本印刷株式会社
- 大和証券株式会社
- 株式会社テレビ朝日
- 株式会社テレビ東京
- 株式会社電算システム
- ドイツ証券株式会社
- 東京電力エナジーパートナー株式会社
- 凸版印刷株式会社
- 日本チューインガム協会
- 野村証券株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 東日本電信電話株式会社
- 株式会社フジテレビジョン
- 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
- 株式会社ベネッセコーポレーション
- 丸紅株式会社
- 丸紅食料株式会社
- 株式会社みずほ銀行
- みずほ証券株式会社
- みずほ信託銀行株式会社
- みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
- 株式会社三井住友銀行
- 三井住友信託銀行株式会社
- 株式会社三菱UFJ銀行
- 森ビル株式会社
- 株式会社ユニリタ
- 株式会社レイヤーズ・コンサルティング
- Septeni Japan 株式会社
- UBS 証券株式会社  
(50音順、敬称略)



「ガムボトル回収BOX」設置イメージ

参考：株式会社 ロッテ 「環境」についての Web サイト

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/environment.html>